

更 尽 会
第 3 回 総 会 お よ び 同 窓 会
(2004 年 度)

と き 平成 16 年 6 月 12 日 (土)
と ころ ホテルサンガーデン日立

＜プログラム＞

13:30～	受付	3 階ロビー
14:00～14:50	第 3 回総会	天空 (西)
15:00～15:50	特別講演 「米国留学と茨城大学への赴任ー2つの転機ー」 加藤 始 先生 (茨城大学名誉教授)	天空 (西)
15:50～15:55	写真撮影	天空 (西)
16:00～18:00	同窓会 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 客員会員紹介 4. 客員代表挨拶 5. 乾杯 ー 歓談 ー 6. 中締め	天空 (東)

更尽会（こうじんかい）について

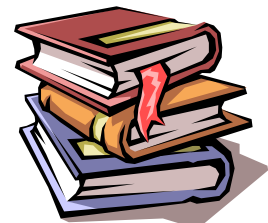
「更尽会」は茨城大学工学部建設工学科・都市システム工学科の卒業生および教職員を中心とする同窓会であり、平成 13 年 5 月 12 日に行われました学科設立 20 周年記念式典において発足しました。

本会の名称「更尽会」は、茨城大学元学長であり、本学科の設立にご尽力くださった黒木剛司郎先生に命名していただきました。

「更尽」とは、有名な漢詩「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西のかた 陽関を出ずれば 故人無からん」から二文字をとったもので、この漢詩は遠く辺境の地に赴任する親

友を送るにあたって王維という唐の詩人が読んだものです。

黒木先生の同窓会名称の命名に関しては、「本学科で共に学んだものの友情を温め、これからも親睦を図って欲しい」との願いが込められております。



更 尽 会 第 3 回 総 会

日時 平成 16 年 6 月 12 日 (土) 14:00～14:50

場所 ホテルサンガーデン日立 天空西の間

議 事 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 2003 年度活動報告について [第 1 号議案]
 - 2) 2003 年度決算報告について [第 2 号議案]
 - 3) 第 2 期幹事の交代および新幹事について [第 3 号議案]
 - 4) 2004 年度活動計画について [第 4 号議案]
 - 5) 2004 年度予算について [第 5 号議案]
 - 6) 2004 年度会計監査役について [第 6 号議案]
 - 7) その他
5. 議長解任
6. 閉会

更尽会 2003 年度活動報告

1. 第2回総会および同窓会の開催について

更尽会第2回総会および同窓会を、平成15年6月7日(土)、ホテルサンガーデン日立において開催し、2002年度の活動報告および決算、2003年度の活動計画および予算を決議した。また、総会后、岩松幸雄先生の特別講演および同窓会を行った。なお、今後の更尽会運営の参考にするために、前年度に引き続き総会出席会員へのアンケート調査を実施した。第2回総会および同窓会の次第は以下のとおりである。

(1) 総会

- 2002年度活動報告および決算について
- 第2期幹事の選出について
- 第2期会長および副会長の選出について
- 2003年度活動計画および予算について
- 2003年度会計監査役の選出について

(2) 特別講演

「わが土木屋人生」 岩松幸雄 先生

(3) 同窓会

総勢79名の出席のもと第2回同窓会が盛況の中開催された。

2. 幹事会の開催について

2003年度は合計3回の幹事会を開催し、年会費の納入方法と更尽会財源の運用方法に関する検討、更尽会会報(2003年度版)の発行に関する検討、第3回総会の運営方法などについて議論した。幹事会の開催日時・場所および議事内容は以下のとおりである。

(1) 第7回(2003年度第1回)幹事会

開催日時:平成15年5月17日(土)13:00~16:40

開催場所:茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容:①2002年度活動報告(案)および決算報告(案)について、②第2期(2003~2004年度)幹事候補者について、③第2期(2003~2004年度)会長および副会長について、④2003年度活動計画(案)および予算(案)について、⑤2003年度会計監査役について、⑥第2回総会&同窓会について、⑦その他

(2) 第8回(2003年度第2回)幹事会

開催日時:平成15年9月7日(日)13:10~16:40

開催場所:茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容:①第2回総会および同窓会の総括について、②更尽会会報(2003年度版)の発行について、③年会費納入状況について、④総務・会計WGからの報告と検討事項等について、⑤その他

(3) 第9回(2003年度第3回)幹事会

開催日時:平成16年2月28日(土)13:20~17:10

開催場所:茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容:①更尽会年会費納入状況(2004.2.20)について、②年会費の自動払込みシステムの導入について(修正案)、③第3回総会および同窓会について、④更尽会会報(2003年度版)について、⑤今後のスケジュールについて、⑥その他

3. 会報・名簿の発行について

2003年度は、スケジュール調整のミスや名簿情報の更新作業が不十分であったという理由で、会報・名簿（合冊）を発行できなかったことから、2004年度の会報・名簿と合冊で発行することとなった。なお、2003年度は会報の送本希望者を事前に確認した結果、152名の会員から送本の希望があった。

4. 年会費の納入状況（2004年3月31日現在）について

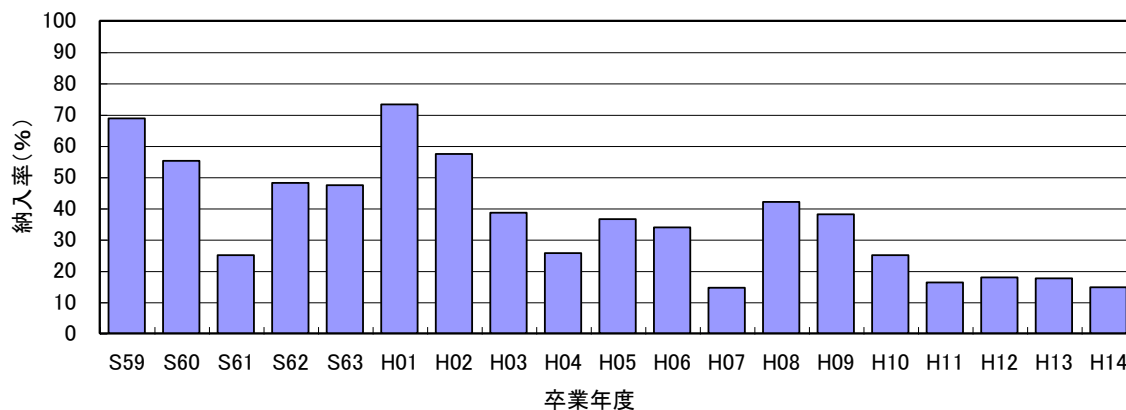
2003年度年会費の納入案内を平成15年7月に実施した。その結果、平成16年3月31日までに478件（956,000円）の年会費が納入された。この結果を踏まえて、これまでの3年間の年会費の納入状況を取り纏めると下表のとおりとなる。また、この表の最右欄に記載されている各期の平均納入率をグラフ化したことにより、各期の納入状況に大きな差があることが確認した。

更迭会年会費納入状況（平成16年3月31日現在）

学科	期	卒業年度	2001年度分			2002年度分			2003年度分			平均納入率(%)
			人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	
建設工学科	1	S59	32	24	75.0	32	23	71.9	32	19	59.4	68.8
建設工学科	2	S60	29	19	65.5	29	17	58.6	29	12	41.4	55.2
建設工学科	3	S61	36	13	36.1	36	8	22.2	36	6	16.7	25.0
建設工学科	4	S62	43	20	46.5	43	23	53.5	43	19	44.2	48.1
建設工学科	5	S63	38	22	57.9	38	19	50.0	38	13	34.2	47.4
建設工学科	6	H01	41	31	75.6	41	33	80.5	41	26	63.4	73.2
建設工学科	7	H02	43	25	58.1	43	27	62.8	43	22	51.2	57.4
建設工学科	8	H03	45	18	40.0	45	19	42.2	45	15	33.3	38.5
建設工学科	9	H04	39	15	38.5	39	9	23.1	39	6	15.4	25.6
建設工学科	10	H05	42	19	45.2	42	17	40.5	42	10	23.8	36.5
都市システム工学科	1	H06	63	24	38.1	63	22	34.9	63	18	28.6	33.9
都市システム工学科	2	H07	71	14	19.7	71	11	15.5	71	6	8.5	14.6
都市システム工学科	3	H08	73	36	49.3	73	35	47.9	73	21	28.8	42.0
都市システム工学科	4	H09	71	31	43.7	71	26	36.6	71	24	33.8	38.0
都市システム工学科	5	H10	70	22	31.4	69	17	24.6	69	13	18.8	25.0
都市システム工学科	6	H11	72	14	19.4	72	13	18.1	72	8	11.1	16.2
都市システム工学科	7	H12	69	14	20.3	69	12	17.4	69	11	15.9	17.9
都市システム工学科	8	H13	--	--	--	57	12	21.1	57	8	14.0	17.5
都市システム工学科	9	H14	--	--	--	--	--	--	68	10	14.7	14.7
全体			877	361	41.2	933	343	36.8	1,001	267	26.7	34.5

【注】この集計結果は平成16年3月31日現在のデータに基づくものである。

平均納入率(2004.3.31現在)



5. 年会費の平均納入率向上に対する取り組みについて

幹事会の取り組みとして、平成15年8月29日現在における各期の平均納入率に対して、各幹事が平成16年3月31日時点における各期の平均納入率の目標値を独自に定め、この目標値に対して未納会員へ働きかけを実施した。下表は、各期の平均納入率の目標値（〈C〉欄）と平成16年3月31日時点における平均納入率（〈D〉欄）を比較したものである。

目標を達成できた期は「平成元年度」卒業生および「平成2年度」卒業生の2つであり、全体としては十分な達成状況とならなかった。ただし、少しでも幹事が働きかけを実施した期は、徐々に納入率が上がってきており、働きかけの効果は高いということが確認できた。

■会費納入率の目標値と達成状況

区分		<A>		<C>	<D>	達成状況
建設01	S59	65.6	10.0%up	75.6	68.8	
建設02	S60	50.6	10.0%up	60.6	55.2	
建設03	S61	25.0	10.0%up	35.0	25.0	
建設04	S62	37.2	12.8%up	50.0	48.1	
建設05	S63	47.4	10.0%up	57.4	47.4	
建設06	H01	56.9	13.1%up	70.0	73.2	クリアー
建設07	H02	45.0	5.0%up	50.0	57.4	クリアー
建設08	H03	38.5	10.0%up	48.5	38.5	
建設09	H04	25.6	10.0%up	35.6	25.6	
建設10	H05	34.1	10.0%up	44.1	36.5	
都市01	H06	31.2	10.0%up	41.2	33.9	
都市02	H07	13.1	10.0%up	23.1	14.6	
都市03	H08	41.1	10.0%up	51.1	42.0	
都市04	H09	36.6	10.0%up	46.6	38.0	
都市05	H10	24.0	10.0%up	34.0	25.0	
都市06	H11	14.8	10.0%up	24.8	16.2	
都市07	H12	17.9	10.0%up	27.9	17.9	
都市08	H13	14.0	10.0%up	24.0	17.5	
都市09	H14	11.8	10.0%up	21.8	14.7	

<A>・・・2003/08/29現在の平均納入率(%)

・・・平均納入率のup値(%)

<C>・・・平均納入率の目標値(%)

<D>・・・2004/03/31現在の平均納入率(%)

6. ホームページの開設について

2003年度は更尽会ホームページの試作を行った。しかしながら、目標であったシステム管理・運用方法の検討、サーバ決定、運用の開始については実現できなかった。情報化社会の背景を考慮すると、ホームページの早期の開設・運用が必要である。

更尽会2003年度（2003.4.1～2004.3.31）決算

【収入の部】

(単位:円)

科 目	2003年度予算	2003年度決算	備 考
年会費	900,000	956,000	2,000円×478件（2003.4.1～2004.3.31）
雑収入	0	120,679	都市システム工学科より寄付(110,088円)、同窓会収益、利息
前年度繰越金	290,823	290,823	
計	1,190,823	1,367,502	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	2003年度予算	2003年度決算	備 考
通信費	250,000	182,705	同窓会および幹事会開催通知、年会費納入通知等
備品・消耗品費	5,000	25,649	事務用品等
会議費	20,000	15,671	会議室使用料、会議昼食代等
印刷費	350,000	141,780	封筒・ハガキ等の印刷
交通費	0	0	幹事交通費等
総会運営費	100,000	90,115	会場設営、講師謝礼
雑費	15,000	37,490	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	450,823	0	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	0	874,092	
計	1,190,823	1,367,502	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

平成 年 月 日

2003年度会計監査役

印

印

更尽会第2期（2003～2004年度）役員

会 長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	松 本 智 良

副会長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	大 谷 俊 夫
昭和60年度	加 藤 久 人

幹 事

卒業年度	氏 名	
昭和59年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和60年度	加 藤 久 人	蛭 町 修 身
昭和61年度	会 沢 英 明	堀 江 義 明
昭和62年度	早 川 裕 史	長 山 公 信
昭和63年度	志 摩 邦 雄	佐 藤 啓 司
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成2年度	宮 本 仁 ※	平 野 有 志
平成3年度	高 橋 学	松 田 節 男
平成4年度	金 森 豪	小 林 卓 也
平成5年度	郡 司 秀 昭	大久保 啓 一
平成6年度	三 瓶 大 介	金 原 和 彦
平成7年度	岡 崎 伸 二	横 川 青 児
平成8年度	西 坂 淳	越 川 満
平成9年度	石 川 慎 吾	前 川 直 子
平成10年度	大 山 丈 吉	飯久保 励
平成11年度	白 坂 浩 一	川 崎 努
平成12年度	阿 部 聡	坂 本 宏 司
平成13年度	鈴 木 健 司	吉 野 哲 平
平成14年度	鈴 木 久美子	吉 川 慎太郎
平成15年度	伊 藤 徹 ※	宮 内 大 輔 ※

※印：新幹事（案）

更尽会 2004 年度活動計画（案）

1. 第3回総会および同窓会の開催について

第3回総会および同窓会を以下のとおり開催し、2003年度活動報告および決算、2004年度活動計画および予算について決議する。また、特別講演および同窓会も同時開催する。

(1) 開催日時：平成16年6月12日（土）14:00～

(2) 開催場所：ホテルサンガーデン日立

(3) 開催内容：

- a) 総会 議事内容：①2003年度活動報告および決算について
- ②第2期新幹事について
- ③2004年度活動計画および予算について
- ④2004年度会計監査役について 他

b) 特別講演「米国留学と茨城大学への赴任—2つの転機—」 加藤 始 先生

c) 同窓会（会員相互の交流を深める機会とし、情報交換及び親睦を図る。）

2. 幹事会の開催について

2004年度は4回の幹事会を予定（内1回は既に実施済み）しており、会報および名簿の発行、年会費の納入、定例総会などの定常業務の運営に関する変更の検討などについて議論する。幹事会の開催予定等は以下のとおりである。

(1) 第10回（2004年度第1回）幹事会 <開催済み>

開催日：平成16年5月15日（土）

議事内容：第3回総会の議事内容について 他

(2) 第11回（2004年度第2回）幹事会

開催予定：平成16年8月頃

議事予定：第3回総会の総括および更尽会報の発行について 他

(3) 第12回（2004年度第3回）幹事会

開催予定：平成16年12月頃

議事予定：2004年度年会費の納入状況確認 他

(4) 第13回（2004年度第4回）幹事会

開催予定：平成17年2月頃

議事予定：第4回総会の実施に関する検討 他

3. 会報・名簿について

会員相互の交流を図るための情報提供を目的として、更尽会の活動内容、学科・研究室の現況等の紹介を掲載した会報を発行する。2003年度は会報・名簿が発行できなかったため、2004年度は2年分の情報を盛り込んだものとする。なお、詳細は以下のとおりである。

a) 会報・名簿を合冊として作成し、会員に発送する。

b) 2003年度と同様に、会報・名簿の送付希望者を募り、希望者を対象に発送することとする。

なお、客員会員には全員に配付する。

c) 会報発送予定：平成16年10月頃

4. 年会費の納入案内および納入システムの検討等について

(1) 年会費納入案内について <実施済み>

2004年度の年会費の納入案内は、平成16年4月に実施する。また、本年度から郵便振替口座および銀行口座への払い込みだけでなく、郵便振替口座への自動払込サービスも利用する。郵便振替口座への自動払込は平成16年10月20日に実施する。

(2) 年会費納入方法の継続検討について

年会費納入の利便性を高めるため、これまで年会費の自動引落としやコンビニエンスストアなどでの支払いの可能性についても検討した。その結果、2004年度から郵便振替口座への自動払込サービスを導入することとした。しかしながら、銀行の自動引き落としやコンビニエンスストアでの支払いの可能性については、採算が取れないということから導入していない。この件については、これまでのアンケート結果で希望する会員がいたことから、本年度も導入の可能性を継続検討することとした。

(3) 年会費未納者に対する対応について

2004年度も年会費の納入状況を向上させるため年会費未納者に対する働きかけを実施し、平均納入率を更にアップさせるような取り組みを行う。特に、平均納入率の低い期に対しては、当該幹事において具体的な対策を検討し平均納入率の向上を目指す。

5. 会員の個人ID（会員番号）の割付について <実施済み>

各会員からの各種問い合わせ、年会費納入者の特定作業などを円滑に進めるために、2004年度の年会費の納入案内から会員の個人ID（会員番号）を割り付けることとする。

6. 更尽会ホームページの開設について

2003年度はホームページの試作を行ったが、一般公開まではできなかった。しかしながら、これまでのアンケート等で「ホームページによる情報提供」を希望する会員の声もあることから、情報化社会の背景を考慮し、2004年度は以下のとおり更尽会ホームページの開設・運用を開始する。

- システム管理・運用方法の検討
- 早期のサーバ決定、運用の開始

7. 学科支援活動および更尽会の広報活動について

学科とのつながりを一層深めるとともに、在学生に更尽会の存在をアピールするため、更尽会において在学生の就職活動等を支援する取り組みの企画・運営について検討する。

更尽会2004年度（2004. 4. 1～2005. 3. 31）予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	2003年度決算	2004年度予算	備 考
年会費納入	956,000	1,000,000	2004.4.1～2005.3.31の年会費納入
雑収入	120,679	5,908	利息など
前年度繰越金	290,823	874,092	
計	1,367,502	1,880,000	

【支出の部】

（単位：円）

科 目	2003年度決算	2004年度予算	備 考
通信費	182,705	350,000	名簿・会報送付、年会費納入通知、幹事会開催通知等
備品・消耗品費	25,649	30,000	事務用品等
会議費	15,671	20,000	会議室使用料等
印刷費	141,780	450,000	名簿・会報、封筒・ハガキ等の印刷
交通費	0	20,000	会計監査交通費等
総会運営費	90,115	150,000	会場設営、講師謝礼
雑費	37,490	50,000	年会費振込手数料等、発送作業アルバイト代
予備費	0	810,000	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	874,092	0	
計	1,367,502	1,880,000	

更尽会 2004 年度 会計監査役（案）

卒業年度	氏 名
平成2年度	小 田 博 之
平成5年度	大 木 正 典

更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月 制定

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
 - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
 - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。

3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 本会の予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) その他本会の運営に関する重要事項

第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。